

# みんなで行く 気候変動対策



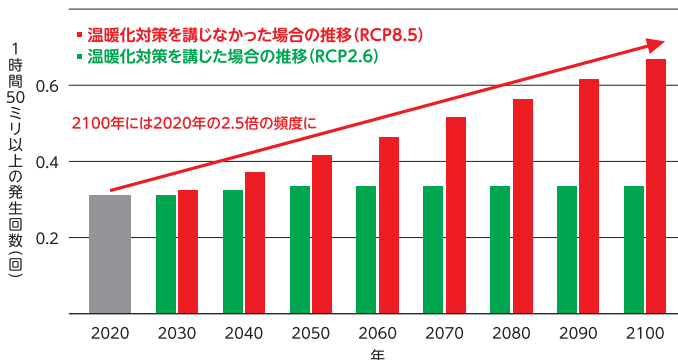
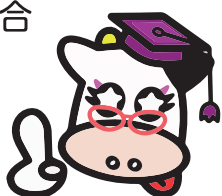
## 防 災 編

気候変動はすでに私たちの暮らしに影響を及ぼしています。  
気候変動を知り、出来ることから気候変動への対策に取り組みましょう。

### 那須塩原市の将来予測

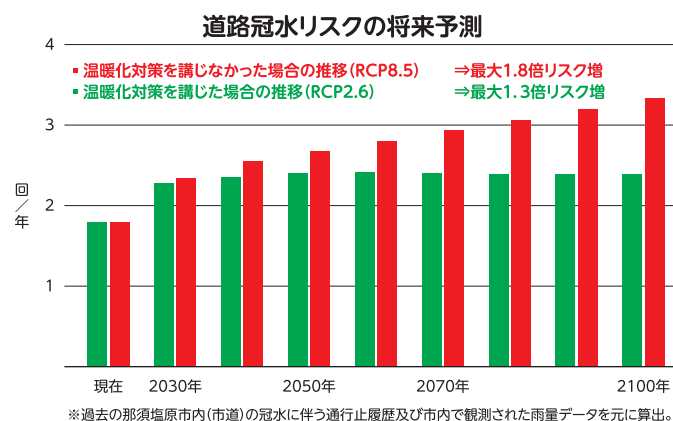
#### ●短時間強雨の将来予測

温暖化対策を講じなかった場合  
1時間降水量50ミリ以上の  
短時間強雨の発生回数が  
2100年には2.5倍に増加



#### ●道路冠水リスクの将来予測

温暖化対策を講じなかった場合  
道路冠水リスクが  
2100年には1.8倍に増加



気候変動への  
対策は  
大きく2つ

#### 気候変動の仕組み

温室効果ガスの増加  
化石燃料の使用による  
二酸化炭素の排出など

気候変動  
気温上昇(地球温暖化)  
降雨パターンの変化  
海面上昇など

気候変動の影響  
生活、社会、経済  
自然環境への影響

緩和

温室効果ガス排出量を  
削減する

2つの  
対策

適応

被害を回避・軽減する

このリーフレットは、相互友好連携協定を結んでいる宇都宮大学と協力して行った  
気候変動の影響調査の結果をもとに、作成しました。(2022年3月作成)

### 那須塩原市気候変動対策局

〒325-8501 栃木県那須塩原市共墾社108-2

TEL 0287-73-5651 FAX 0287-62-7500 メール nccac@city.nasushiobara.lg.jp

気候変動への本市の  
取組状況はこちらから



那須塩原市は、宇都宮大学と協力して、  
自然を活用した防災機能を高める手法について調査しました。

短時間強雨の増加などにより、人工的な構造物だけでは災害を防ぐことが難しくなると想定されます。

適応するために

自然を活用した防災機能を高める手法が注目されています。

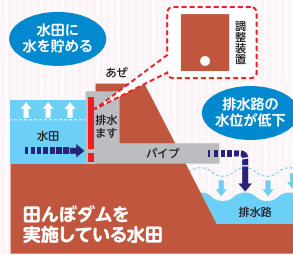
### 本市の自然を活用して適応できるかも

- ・ 田んぼなどの農地への貯留
- ・ 森林の保水力を高める  
環境保全



### 田んぼダムの先進地 新潟県の事例

新潟県では、田んぼの貯水機能を利用して、時間をかけてゆっくり排水することで、水害を軽減する取組を進めています。



小さい穴を開けた調整板で排水する量を調整

※資料(左):新潟市、資料(右):新潟県

## みんなで取り組む 気候変動対策

### 気候変動の被害を避ける、 小さくする

- ハザードマップを確認しよう
- 避難場所と避難経路を確認しよう
- 避難経路を通って避難場所まで歩いてみよう
- 非常持出品を準備しておこう
- 気象情報を入手できるようにしておこう



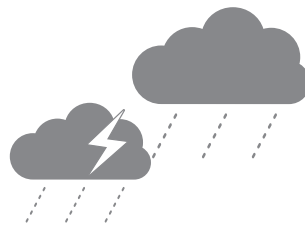
ハザードマップはこちらから



### 気候変動の原因、 温室効果ガス排出量を少なくする

環境省が、できることから始める、温室効果ガス排出量を少なくする取組として「ゼロカーボンアクション30」を推進しています。

<b>エネルギーを節約・転換しよう!</b>	<b>太陽光パネル付き・省エネ住宅に住もう!</b>
<b>CO2の少ない交通手段を選ぼう!</b>	<b>食ロスをなくそう!</b>
<b>サステナブルなファッションを!</b>	<b>3R(リデュース、リユース、リサイクル)</b>
<b>CO2の少ない製品・サービス等を選ぼう!</b>	<b>環境保全活動に積極的に参加しよう!</b>



ゼロカーボンアクション30を詳しく知りたい方はこちらから

